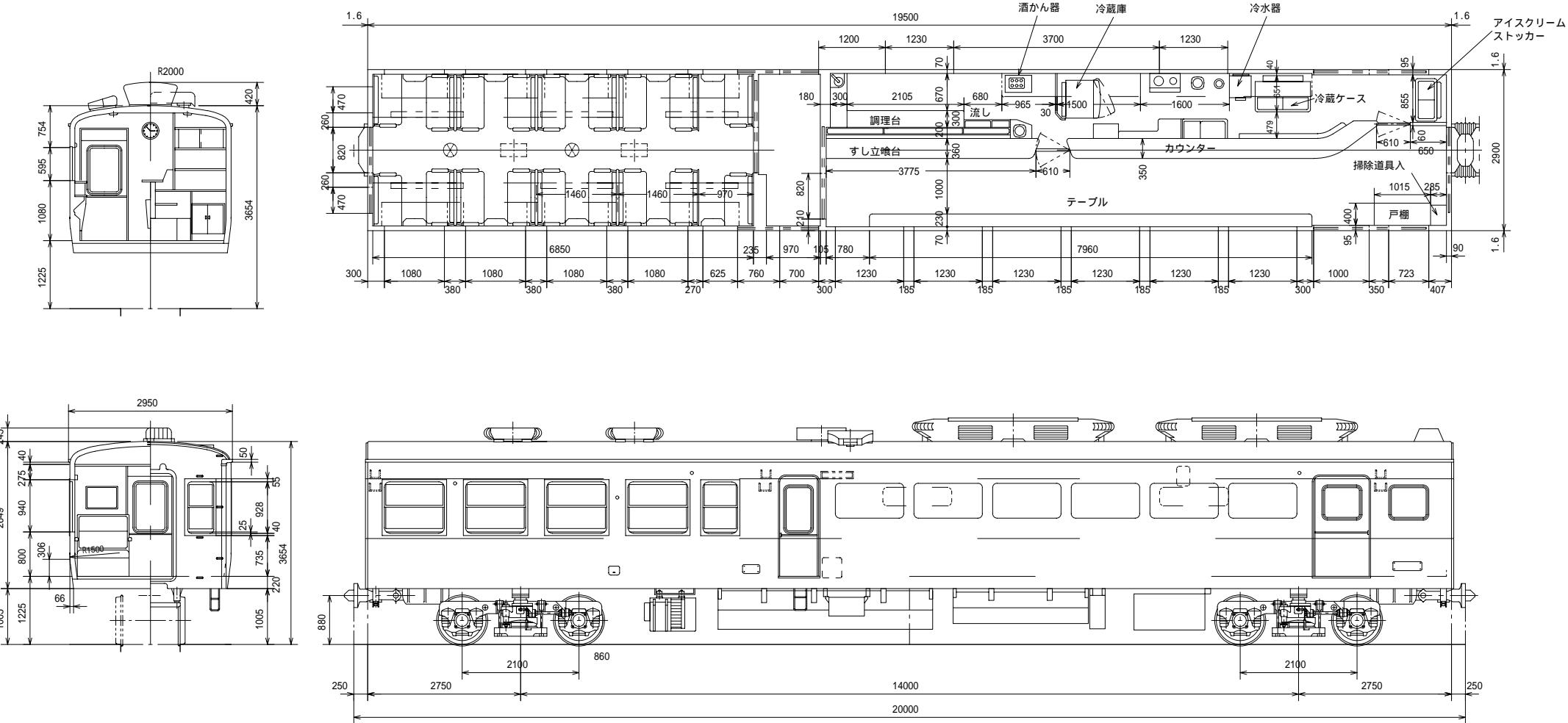


国鉄 サハシ153型 形式図



1961年、急行用として活躍を開始する際に新造された形式

冷房付で、こだま型のモハシ同様ピュッフェ式の食堂だが、一角に寿司屋あるいはそば屋が進出して人気を博した
なお、図の反対側の調理室側面は、点線で示したように細長い窓が2つある位で、なかなか印象的である

サロ152も1961年にサハシと同時に登場した新形式

それまでの東海型に全面的に使用されていた独特の様式の窓回りが新鮮なデザインに変わったのが特徴
一端に回送運転台があり、ヘッドライトを付けている

サロ153は1958年に生まれた形式で、これは狭窓である

この内2輌はステンレス車体の試作車として、特異な姿をしている